

第115期 中間株主通信

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

株主のみなさまへ



エンブラ事業部 江南工場（愛知県江南市）

GUNZE

グンゼ株式会社

証券コード 3002

株主のみなさまへ



当社グループは、「品質第一」と「技術立社」を基盤に、創業の精神である「人間尊重」「優良品の提供」「共存共栄」を企業理念として顧客起点の事業運営を行っております。

このような理念のもと、企業の社会的責任（CSR）に積極的に取り組み、お客さま満足と持続的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社グループは、2010年9月末をもって第115期第2四半期を終了いたしましたので、ご挨拶をかねて連結決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別事業内容および新規事業への取り組みについても併せてご報告申しあげ、ご理解を賜りたいと存じます。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、エコカー減税やエコポイント等の需要喚起策や猛暑特需、新興国向け輸出の拡大など一部の業種に回復傾向が見られましたが、期間後半は雇用情勢や所得低迷に加え、急激な円高や株安等もあり、先行きの不透明感が払拭されない状況が続きました。

アパレル事業においては、デフレの継続、実質所得の減少などから消費者の生活防衛型消費や、節約志向がさらに強まる中で、個人消費の低迷や価格競争の激化など、引き続き厳しい状況で推移しました。機能ソリューション事業においては、設備投資の回復や猛暑による特需などから、受注は改善しましたが、デ

» Contents

- p1-2 株主のみなさまへ
決算ハイライト
- p3-4 アパレル事業
- p5-7 機能ソリューション事業
- p8 ライフクリエイト事業
- p9-10 連結財務諸表
- p11 トピックス
- p12 株式の状況
- p13 株主インフォメーション
- p14 会社の概況
- p15 株主メモ
株主さま優待のお知らせ

◎表紙写真について

1990年（平成2年）にエンブラ事業部の工場は、守山市（滋賀県）から江南市（愛知県）に移転しました。この建物は、その当時最初に建てられた棟（第1工場）で、主にOA機器などの機能部品の生産を行っています。現在では第5工場まで拡充しました。

フレ経済下での原料・コスト高と製品安問題に加え、急激な円高による輸出競争力の低下と採算悪化などの不安要素を抱えています。

このような状況の中で、当社グループは

- (1) 新しい事業構造への変革
- (2) グローバル経営の積極推進
- (3) スリムで効率的な経営体質の実現

に重点的に取り組んでまいりました。

通期の見通し

通期の連結業績につきましては、売上高がアパレル事業の市場競争激化や個人消費の低迷などにより低調に推移しているものの、利益面では機能ソリューション事業の業績回復により概ね想定の範囲内で推移するものと予想されます。このような状況を踏まえ、通期連結業績については、売上高は1,408億円（前期比1.9%増）

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は67,228百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,667百万円（前年同期比47.9%増）、経常利益は1,808百万円（前年同期比34.4%増）、四半期純利益は719百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

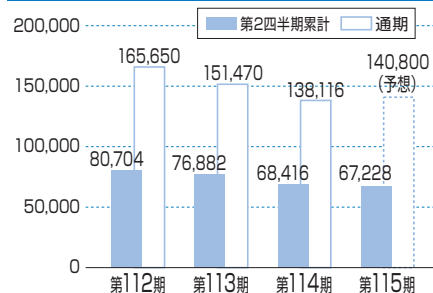
に修正しておりますが、営業利益35億円（前期比78.3%増）、経常利益38億円（前期比50.0%増）、当期純利益20億円（前期比137.8%増）については、当初見込み通りとしております。なお、配当につきましては当初予想通り1株当たり年間7円50銭から変更しておりません。

今後とも株主のみなさまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

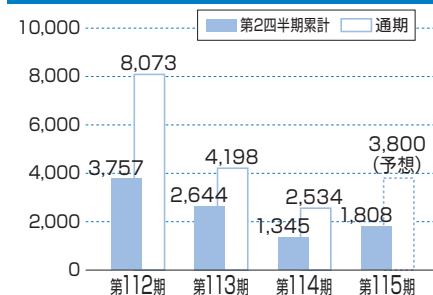
平成22年12月

代表取締役社長 平田 弘

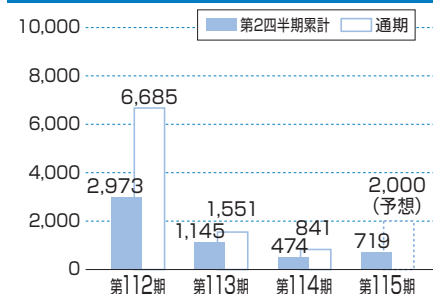
● 売上高 単位:百万円



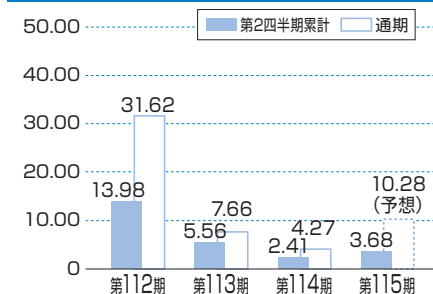
● 経常利益 単位:百万円



● 四半期(当期)純利益 単位:百万円



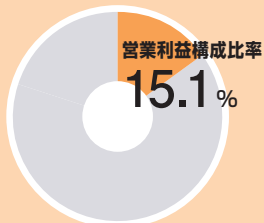
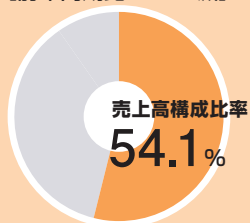
● 1株当たり四半期(当期)純利益 単位:円



アパレル事業

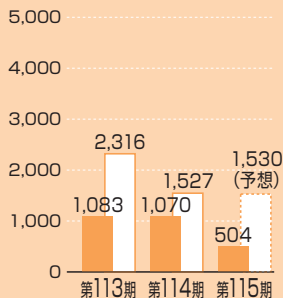
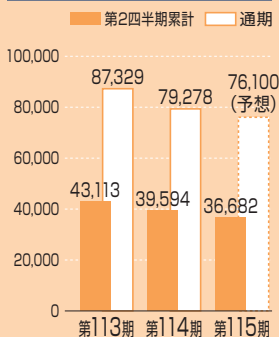
売上高
36,682百万円
[前年同期比 7.4%減]

営業利益
504百万円
[前年同期比 52.9%減]



売上高 単位:百万円

営業利益 単位:百万円



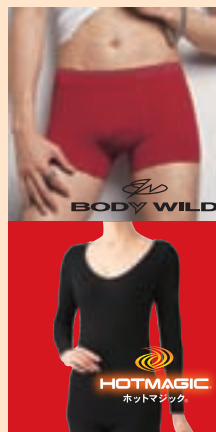
(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

インナーウェア分野は、市場ではPB（プライベートブランド）を含むシーズン機能商品が大幅拡大する中、フルリニューアルした『BODY WILD』が健闘しましたが、NB（ナショナルブランド）ベーシック商品が落ち込むとともに、猛暑による秋物商品の販売不振などから苦戦しました。レッグウェア分野は、ストッキング、ソックスの既存カテゴリーは苦戦しましたが、シーズン素材や機能性を付加したトレンド商材（レギンス・トレンカ・フットカバー）の拡販やコストダウンの推進などにより、減収ながら増益となりました。以上の結果、アパレル事業の売上高は36,682百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は504百万円（前年同期比52.9%減）となりました。

事業内容

インナーウェア



インナーウェアの中心ブランドとして、若者の感性に応えた『BODY WILD』『Tuché』、肌着の新基準を提案する『THE GUNZE』などを展開しています。また機能を追求した夏用商品『COOLMAGIC』、冬用商品『HOTMAGIC』なども販売しております。お客さまのライフスタイルや嗜好の変化に合わせたブランドと素材開発を行い、魅力ある商品展開と楽しく選びやすい売場づくりを目指しています。

レッグウェア



女性の“美しくなりたい”という気持ちに“機能”と“ファッション”の両面からアプローチしています。最新のレッグトレンドを発信する『Tuché』や、女性のニーズにお応えした機能ストッキング『SABRINA』など、多彩なラインナップで女性の脚もとを演出します。



ハウスカジュアル

ライフスタイルの変化で、近年ますます多様化するホームウェアや、快眠を提供するナイトウェアなどで心と体のリラックスを追求しています。



自動車のエアバッグ用ミシン糸は、国内外で販売拡大を目指しています。

繊維資材

お得意先であるアパレルメーカーの生産性の向上に寄与するミシン糸や、高付加価値を備えた特殊用途向けのミシン糸等、新機能商品を開発しています。

「BODY WILD Under wave」 直営店がオープン!

9月17日に「BODY WILD Under wave」関西1号店を「グンゼ タウンセンター つかしん」(兵庫県尼崎市)に、また9月29日にはお台場店を「デックス東京ビーチ」にオープンし、「原宿」と「吉祥寺」を合わせて、全国で4店舗となりました。

ひとりひとりが自分の好きなアンダーウェアを自由に選べる楽しさや、アーティストとのコラボデザインパンツなどを提供しています。

BODY WILD

BODY WILD Under wave



お台場店

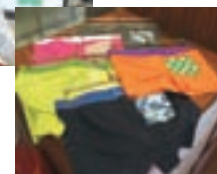


つかしん店

世界にひとつだけ!『BODY WILD』 カスタマイズパンツのネット販売開始!

「カスタマイズパンツを、全国どこでも購入できるようにしてほしい!」とご要望から、ネットでの販売を9月より開始しました。100万通りのカスタマイズパンツが作れるサイト「BW fit (ビーダブル フィット)」では、パソコン画面でパーツのカラーやデザインを選び、自由にシミュレーションでき、オリジナルパンツを作る過程も楽しめます。

ご注文いただいてから京都府宮津市の工場で縫製し、お客さまに2~3日でお届けしています。(http://www.bw-fit.com)



Overseas

海外ショップ案内

当社の海外ショップでは、「It makes a smile.」をコンセプトにして、インナーウェア、パジャマ、レグウェアを販売しています。

上海

上海港匯ショッピングモール
Shanghai Gangshunhui
Shopping Mall

常州購物中心
Changzhou Shopping Center
龍之夢ショッピングモール
Longmeng Shopping Mall

香港

シティストア Tseung Kwan 店
City Store Tseung Kwan

シンガポール

シンガポール高島屋
Takashimaya Singapore

ジャカルタ

グンゼショップ ボンドク・インタモール内
Gunze Shop Pondok Indah Mall

ホーチミン

ZENショッピングセンター
ZEN Shopping Center

ハバロフスク

NKシティショッピングセンター
NK City Shopping Center

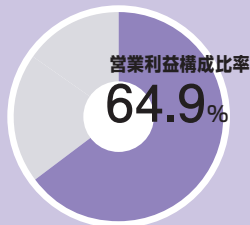
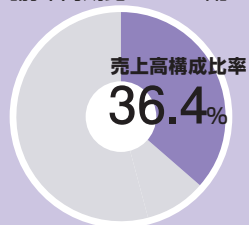
台北

そごう復興店
Sogo Fluxing

機能ソリューション事業

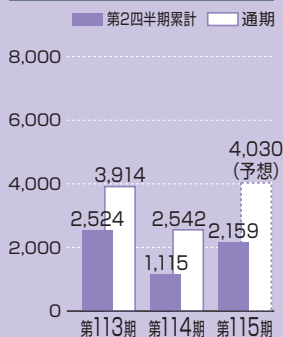
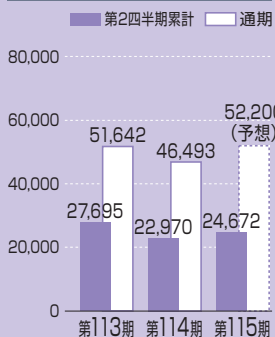
売上高
24,672 百万円
【前年同期比 7.4%増】

営業利益
2,159 百万円
【前年同期比 93.6%増】



売上高 単位:百万円

営業利益 単位:百万円



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

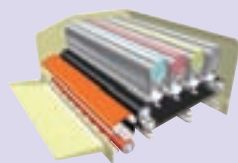
プラスチックフィルム分野は、野菜の価格高騰による廉価食材や小分け販売の増加に伴いOPPフィルムの防曇タイプが販売増となり、飲料向けフィルムも猛暑の影響から好調に推移したこと等から増収増益となりました。エンジニアリングプラスチック分野は、昨年の厳しい状況から一転してユーザーであるOA機器セットメーカーから受注が拡大し増収増益となりました。電子部品分野は、市況の回復により増収となったものの本格的な業績回復には至りませんでした。今後の主力商品と位置づける透過型静電容量タッチパネルの引き合いが急増しており、これに対応すべく他社とのコラボレーションを含むグローバルネットワークの構築を進めております。メディカル分野は、海外での骨接合材、縫合補強材が順調に推移したことから増収増益となりました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は24,672 百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は2,159 百万円（前年同期比93.6%増）となりました。

事業内容



プラスチックフィルム

ペットボトルのラベルに使用するフィルムや、くもりにくい特長のある野菜の包装用フィルムなどを製造販売しています。環境に配慮し、時代のニーズに合った商品開発に取り組んでいます。



エンジニアリングプラスチック

複写機やプリンタ等のOA機器機能部品、半導体超純水フィルター部材等に使用されるエンジニアリングプラスチック（高性能プラスチック）を成型、加工し、販売しています。



電子部品

タッチパネル商品群を開発・販売しています。高い信頼性が求められる産業用途から、最先端技術と生産対応力を求められるコンシューマー用途まで展開しています。



メカトロ

印刷関連省力機器、検査・包装機器などを提供するエンジニアリング部門です。



メディカル材料

生体吸収性の素材を用いた医療用具を製造販売しています。高分子技術と、アパレルの加工技術を融合させました。



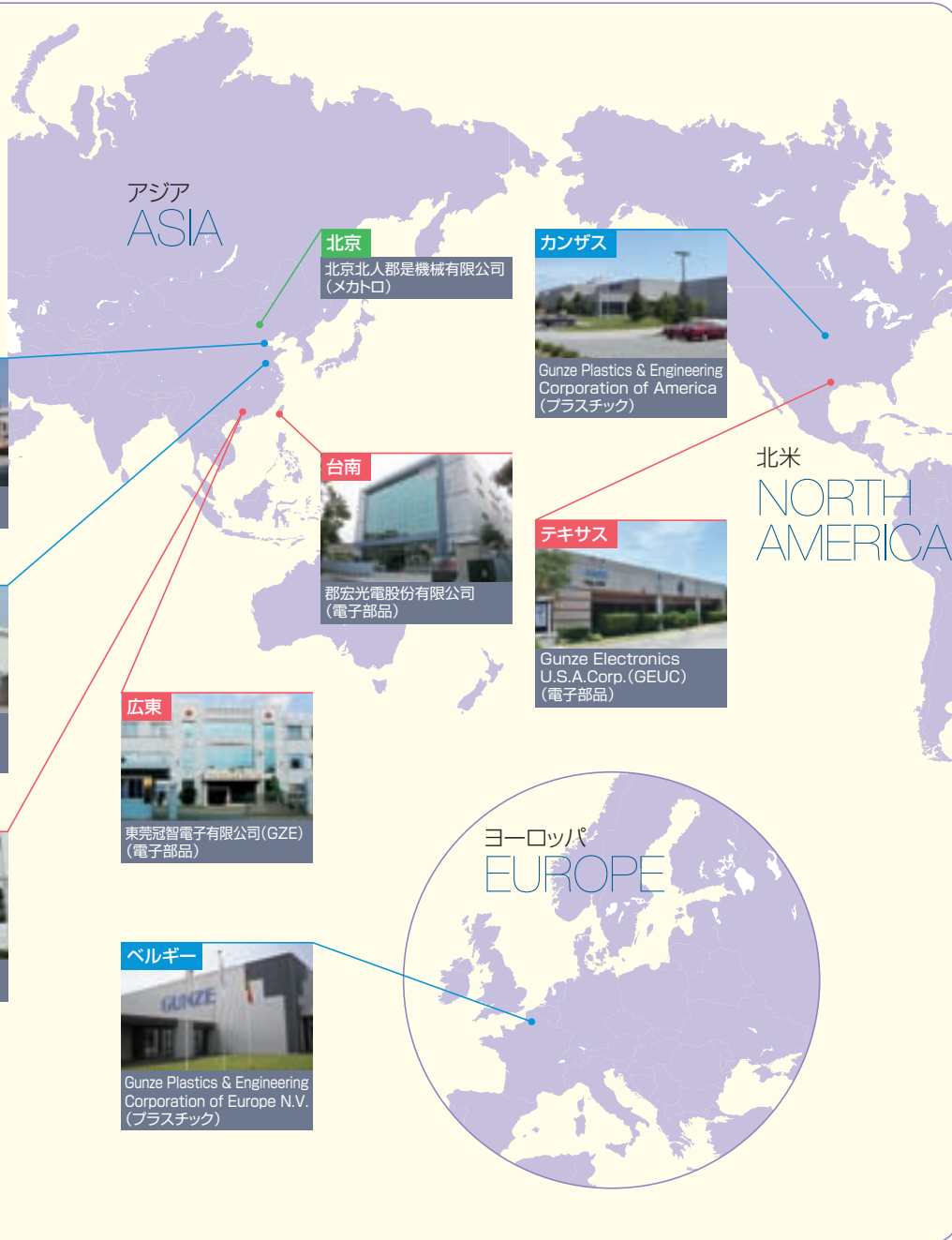
新規開発事業

微細パターン印刷技術（DPT）、ガラス代替高耐久フィルム（HD）や高耐熱光学フィルム（F）などの新しい光学フィルムや、健康食品「紅麹」の開発を進めています。

Overseas

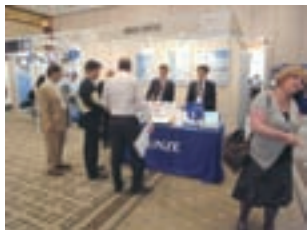
海外生産拠点

機能ソリューション事業は、グローバルに展開しています。



国際熱傷学会に人工皮膚「ペルナック」を出展!(メディカル事業部)

6月21日～25日、トルコのイスタンブールで開催された第15回国際熱傷学会に当社の「ペルナック」を出展しました。トルコ、中東、欧州を中心に熱傷、形成外科領域のドクターが多く来場され、各国人工皮膚事情に関する情報収集を行いました。また日本、豪州、韓国、ブラジルのドクターより、当社人工皮膚の使用実績に関する学会発表が行われ、各国ドクターへ訴求することもできました。



Propak China 2010に出展!(メカトロ事業部)

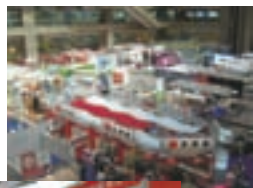
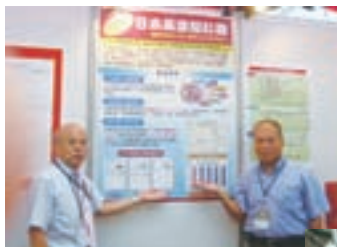
7月14日～16日、上海新国際展示場で「Propak China 2010」が開催され、当社、北人郡是(BGM)、上海郡是新包装(SGP)の3社共同で包装関連機器と包装資材を出展しました。中国国内企業をはじめ、アジア各国から約100社の来場者があり、中国などのビジネス発展につながる機会となりました。



ベニエツが台湾進出!(開発事業部)

7月22日～25日、ベニエツ(グンゼ紅麴)をアジア最大級の健康食品展示会「BIO台湾」に出展しました。

会場中央でひととき目立つ日本館にブースを構え、台湾をはじめ中国本土への販路拡大に向け、商談を行いました。当社の紅麴は、コレステロールが気になる人に適した食品として評価されました。



平田社長がロンドンでIR活動

9月9日～10日、ロンドンで開催された海外投資家向けカンファレンスに平田社長が参加しました。日系の在英証券会社が主催し、欧州の機関投資家に対し、NTTドコモやソフトバンクなど日本企業17社が現状と今後のビジョンを説明し、投資を促進することを目的に開催されました。投資家は欧州より58社79名が参加しました。当社は初めての参加で、投資家とのミーティングを2日間で11回設定、開催2ヶ月前には著名な投資家を主体に11枠の予約がすべて埋まるという関心の高さでした。

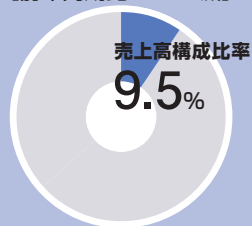
ミーティングは、事前配布の資料を精読された投資家からの質疑からはじまり、将来の事業展望、新規事業の内容など、熱のこもった質疑が飛び交い、当社への理解を深めていただくことができました。



ライフクリエイト事業

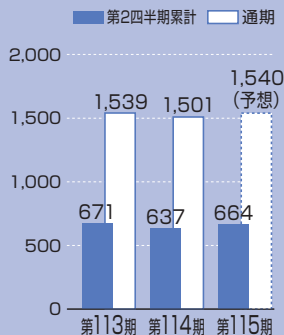
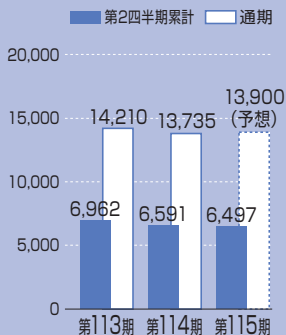
売上高
6,497 百万円
[前年同期比 1.4%減]

営業利益
664 百万円
[前年同期比 4.2%増]



売上高 単位:百万円

営業利益 単位:百万円



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」が消費低迷と競争激化による厳しい環境の中、顧客満足度の向上と地域密着型の販売促進に取り組み、前年同期並みの集客を確保しました。スポーツクラブ分野は、スクール会員をはじめ新規会員獲得や経費削減により堅調に推移し、増収増益となりました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は6,497 百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は664 百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

事業内容

スポーツクラブ

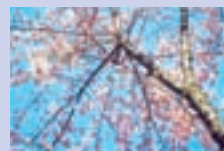
地元へ密着したスポーツクラブとして、質の高いサービスとメニューを提案し続けています。地域の皆さまに「健康・感動・安心」をお届けするクラブを全国15店舗で展開しています。



スカイガーデン店(愛知県名古屋市)

緑化

植物全体に係わる事業を展開しています。良質の樹木や花などを販売するとともに、環境浄化木の販売なども行っています。



環境浄化機能をもつ「ヒマラヤザクラ」

商業デベロッパー

グンゼ タウンセンター つかしん(兵庫県尼崎市)は2006年のリニューアルオープン以降、毎年1,000万人を越えるお客さまにお越しいただき、累計来街者数が5,000万人を超えました。



温浴

「つかしん」の日帰り温泉施設「湯の華廊」。源泉掛け流しの露天風呂や岩盤浴など16種類のお湯が楽しめます。



エンジニアリング

省エネ、省資材などの技術やノウハウを活用して、ESCO事業及びエコ商材(断熱材)の販売を行っています。



高い省エネ効果を発揮する「エコカバー」

体操教室

ジュニアスクールが好調! (グンゼスポーツつかしん店)



グンゼスポーツつかしん店ではさまざまなジュニアスクールを運営しています。スイミングに次いで人気なのが器械体操で、専門スタッフの指導により、基礎から高度な技までを習得することができます。

>>> 連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前第2四半期 連結会計期間末 平成21年9月30日現在
資産の部		
流動資産	70,473	73,768
固定資産	97,990	104,057
有形固定資産	68,457	72,317
無形固定資産	2,335	1,154
投資その他の資産	27,196	30,585
資産合計	168,463	177,826
負債の部		
流動負債	37,146	41,865
固定負債	19,006	18,006
負債合計	56,152	59,871
純資産の部		
株主資本	111,865	113,428
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,083	14,086
利益剰余金	78,960	79,366
自己株式	△7,249	△6,095
評価・換算差額等	△376	3,674
新株予約権	183	118
少数株主持分	638	733
純資産合計	112,310	117,955
負債及び純資産合計	168,463	177,826

|| 流動資産

前年同期比32億円減少

たな卸資産38億円減少などにより、全体では32億円の減少となりました。

|| 固定資産

前年同期比60億円減少

保有株式の時価下落や退職給付信託の設定に伴う投資有価証券64億円減少などにより、全体では60億円の減少となりました。

|| 流動負債

前年同期比47億円減少

コマーシャル・ペーパーを含む短期借入金40億円減少、支払手形及び買掛金7億円減少などにより、全体では47億円の減少となりました。

|| 純資産

前年同期比56億円減少

株主還元による減少26億円（配当14億円、自己株式取得11億円）及びその他有価証券評価差額金32億円減少などにより、全体では56億円の減少となりました。

》》連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
売上高	67,228	68,416
売上原価	48,871	50,218
売上総利益	18,357	18,197
販売費及び一般管理費	16,690	17,070
営業利益	1,667	1,127
営業外収益	791	619
営業外費用	650	401
経常利益	1,808	1,345
特別利益	1,039	1,524
特別損失	1,602	1,656
税金等調整前四半期純利益	1,245	1,213
法人税等	504	714
少数株主損益調整前四半期純利益	740	-
少数株主利益	21	24
四半期純利益	719	474

売上高

前年同期比1.7%減少

アパレル事業が個人消費の低迷や価格競争激化、婦人服事業の終息などにより29億円減収となりましたが、機能ソリューション事業が需要回復により17億円増収となり、全体では11億円の減収となりました。

営業利益

前年同期比47.9%増加

アパレル事業では5億円減益となりましたが、機能ソリューション事業で10億円増益となり、全体では5億円の増益となりました。

》》連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,165	6,382
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,977	△4,223
財務活動による キャッシュ・フロー	2,402	△4,965
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△86	77
現金及び現金同等物の 増加額 (又は減少額)	504	△2,730
現金及び現金同等物の 期首残高	5,496	7,859
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増加額	0	51
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,001	5,179

注)△印は支出超過を表わす。

1 毎日放送「せやねん!」に『COOLMAGIC』が登場! (インナーウェア事業)

6月26日、関西地区で放送されている毎日放送「せやねん!」の名物コーナー“メチャ売れ”に『COOLMAGIC』が登場しました。この番組は、関西地方で話題になっている(なりそうな)商品にスポットをあてて、開発に携わった人などを通し、商品特長などをレポートするコーナーで、絶大な人気番組です。番組では『COOLMAGIC』だけでなく、グンゼの歴史や、インナーウェア、レッグウェアの人気商品も紹介されました。



2 国際福祉機器展で、エクササイズを実施! (インナーウェア事業／グンゼスポーツ)

9月28日～10月1日、東京ビッグサイトにおいて、第37回国際福祉機器展が開催され、当社からはインナーウェア、パジャマなどを出展しました。来場者は、福祉機器への関心の高まりで、3日間で約12万人(前年比11%増)にのぼり年々増加し続けています。

この展示会は病院や介護施設などへグンゼの健康支援商品を紹介し、開拓することと、健康的なライフスタイルを支援する企業イメージの向上が目的です。

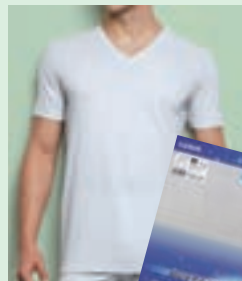
今回は特にグンゼスポーツが参加し、介護する側の負担を軽減するための“自宅で簡単にできるリンパの流れをよくするエクササイズ”のデモンストレーションを実施し、多くの来場者の注目を浴びました。



3 スペースシャトルの飛行士用に採用された肌着をチリ鉱山落盤事故へ提供 (インナーウェア事業)

チリ サンホセ銅鉱山の落盤事故で地中に閉じ込められた方々への支援物資として、外務省及び宇宙航空研究開発機構(JAXA)を通じて、肌着を提供しました。提供したVネックTシャツは、4月に山崎直子宇宙飛行士が搭乗したスペースシャトル「ディスカバリー号」の飛行士用に採用されたものと同じ商品です。

SPACEINNER
スペースインナー



VネックTシャツ

NEXTRA COTTON
THE GUNZE



ボクサーブリーフ



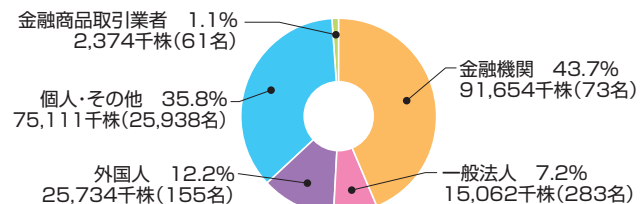
吸放湿性、消臭、抗菌、速乾の性能を持つ商品を提供。

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行済株式総数 209,935,165株

- ◎自己株式(平成22年4月1日～平成22年9月30日)
 - 取得 4,013千株 (1,163百万円)
 - 処分 6千株 (3百万円)
 - 期末 16,738千株 (7,249百万円)
- ◎単元株式数：1,000株

株主数 26,510名



(注) 円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧(上位10社)

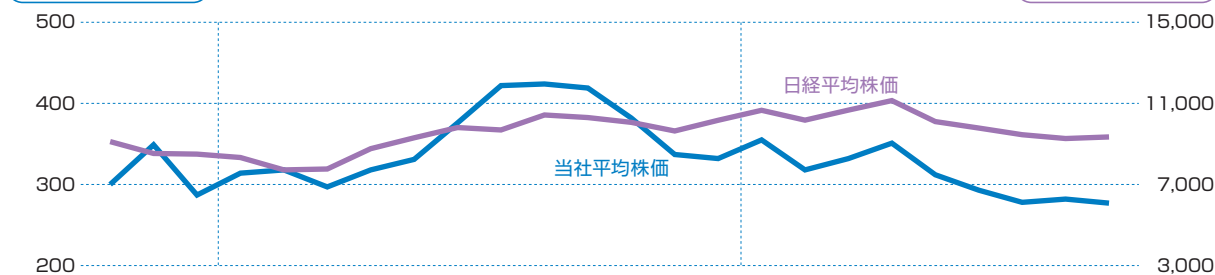
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	33,711	17.44
全国共済農業協同組合連合会	8,578	4.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	6,663	3.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.17
資産管理サービス信託銀行株式会社	6,013	3.11
株式会社京都銀行	5,875	3.04
第一生命保険株式会社	5,531	2.86
日本興亜損害保険株式会社	4,380	2.26
株式会社みずほコーポレート銀行	4,205	2.17
株式会社GSIクレオス	2,655	1.37

(注) 当社は、自己株式16,738千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

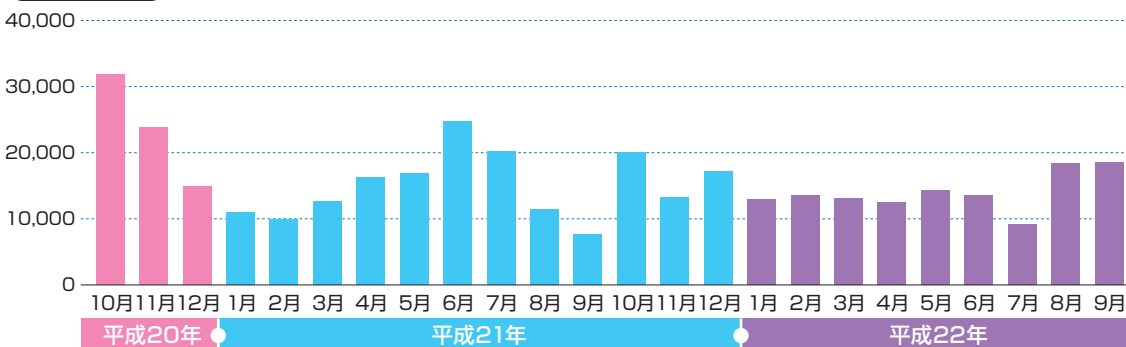
株価・出来高グラフ

当社平均株価(円)

日経平均株価(円)



出来高(千株)



株主インフォメーション

Q 単元未満株式を処分したいのですが、どうしたらいいですか？

A 当社株式の証券市場での取引は1,000株(1単元)単位となっており、単元未満株式(1~999株)を市場で売買することはできません。当社では、「**単元未満株式買取制度**」及び「**単元未満株式買増制度**」を採用しておりますので、どうぞご利用下さい。

買取請求

1,000株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。



例えば700株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

買増請求

1,000株(単元株)に不足する数の株式を当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。



例えば700株を保有の場合、300株を買い増して、1,000株(単元株)とすることができます。

Q 特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが、どうしたらいいですか？

A 特別口座では、株式の売却を行うことはできません。あらかじめ、証券会社に口座開設をした後で(既に口座開設されている場合は不要です)、当社の特別口座管理機関である**三菱UFJ信託銀行**までお申し出下さい。また、単元未満株式についても振替が可能です。なお、振替にかかる手数料はございませんが、証券会社に口座開設をされる場合、口座の種別により口座管理手数料がかかる場合がございます。口座を開設される証券会社へご確認の上、口座開設をお願いします。

Q 各種手続きの申し出先はどちらになりますか？

A 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、その他株式に関する各種手続きについてのお問い合わせは、以下のとおりです。

証券会社の口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社へ

特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行へ

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

0120-094-777 (通話料無料)

なお、上記ご案内の株式の振替及び単元未満株式の買取・買増手続きは、強制するものではありません。株主さまご自身にてご判断いただきますようお願いいたします。

会社の概況

(平成22年9月30日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	2,188名(単体) 8,838名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田1丁目8番17号 (大阪第一生命ビル) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋2丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

主な連結子会社

東北グンゼ株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of Europe N.V. (ベルギー)
九州グンゼ株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America (米国)
福島プラスチック株式会社	上海郡是通虹纖維有限公司 (中国)
グンゼ包装システム株式会社	GGI Technology Ltd. (香港)
グンゼ高分子株式会社	Guan Zhi holdings Ltd. (香港)
グンゼ開発株式会社	上海郡是新塑材有限公司 (中国)
株式会社つかしんタウンクリエイト	Gunze Electronics U.S.A.Corp. (米国)
グンゼスポーツ株式会社	山東冠世針織有限公司 (中国)

(注) 1. 上野祐子氏および天野勝介氏は社外取締役、平井俊邦氏および宮川明氏は社外監査役であります。

2. チーフオフィサー制度を採用し、チーフオフィサーで構成する経営執行会議にて、経営重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っております。

CEO	Chief Executive Officer(最高経営責任者)	CCO	Chief Compliance Officer(コンプライアンス担当)
COO	Chief Operating Officer(最高執行責任者)	CMAO	Chief Management & Accounting Officer(経営・管理担当)
CFO	Chief Financial Officer(財務担当)	CLO	Chief Logistics Officer(物流担当)
CHO	Chief Human-Resources Officer(人事担当)	CTO	Chief Technical Officer(技術担当)
CCSRO	Chief Corporate Social Responsibility Officer(CSR担当)	CIO	Chief Information Officer(情報担当)
CRO	Chief Research & Development Officer(研究開発担当)		

取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員(CEO兼COO)	平田 弘
代表取締役常務取締役兼常務執行役員 コーポレートコミュニケーション部長(CFO兼CHO)	児玉 和
常務取締役兼常務執行役員 電子部品事業部長(CCSRO)	悴山 滋
常務取締役兼常務執行役員 エンブラ事業部長(CRO)	丹原 英夫
常務取締役兼常務執行役員 アパレルカンパニー長(CCO)	金井 博芳
取締役	上野 祐子
取締役	天野 勝介
取締役兼執行役員 研究開発部長	鈴木 昌和
取締役兼執行役員 プラスチックカンパニー長	服部 和徳
取締役兼執行役員 経営戦略部長(CMAO)	浜村 眞
取締役兼執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長(CLO)	小澤 七洋
監査役(常勤)	下井 幸夫
監査役	平井 俊邦
監査役	宮川 明
監査役	藤田 博

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

執行役員

執行役員	メカトロ事業部長	森山平三郎
執行役員	開発事業部長	四方 仁史
執行役員	メディカル事業部長	鶴家 邦良
執行役員	技術開発部長(CTO兼CIO)	仲井 新一
執行役員	グンゼ開発株式会社社長	赤木 庸二
執行役員	アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長	山田 篤史
執行役員	人事・総務部長(CHO代理)	赤瀬 康宏
執行役員	アパレルカンパニーレグウエア事業本部長	廣地 厚

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日(毎年6月下旬開催)
期末配当金 3月31日
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード 3002
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL:0120-094-777(通話料無料)

<ご注意>

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主さま優待のお知らせ

毎年9月末(中間時)、3月末(期末時)に単元株(1,000株)以上の株式をご所有の株主さまに、下記の株主さま優待をご用意しております。

優待内容

優待
1

《中間時のみ》

当社商品(コース選択式)を保有株数に応じて贈呈

1,000株以上
3,000円相当の
当社商品

3,000株以上
6,000円相当の
当社商品

優待
2

《中間時・期末時》

『Celestyle(セレススタイル)』
『BASIC COLLECTION(ベーシックコレクション)』
カタログ掲載商品の20%優待割引



みなさまよりご愛顧いただいております通販カタログは、上質にこだわったインナーウェアやホームウェアを選びすぐった『セレススタイル』と、従来からの商品を中心とする『ベーシックコレクション』の2つがございます。

『セレススタイル』は季節に合わせて1年に4回発刊いたします。

株主さま優待についてのお問い合わせは
下記フリーダイヤルをお願いします。

 0120-788-789

受付時間10:00~17:00/土・日・祝日は除く